

飛躍



小学1・2年生



小学3・4年生



小学5・6年生



中学生

出場選手延べ140名!力を出し切りみんな笑顔です!

空手道拳心館

第16回松戸流山荒川 ジュニアチャレンジカップ開催!

八柱に道場を構え、昨年開館30周年を迎え今年新たな第一歩を踏み出した拳心館。空手を通して身体だけでなく、ココロの強さを育む「心身鍛錬場」として指導に当たっています。地域住民の方たちからの信頼も厚く、八柱桜祭りでは毎年トリを務める地元の顔でもあります。残念ながら今年も桜祭りは中止となりましたが、来年こそは子どもたちの元気いっぱい演武を見られることを願っています。

そして日々の鍛錬の成果を発揮する場であるジュニアチャレンジカップが2年ぶりに開催されました。昨年は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となった本大会、例年小学1年生〜中学3年生まで一同に行われますが、今年は万全のコロナ対策を施し、4分割の分散開催で行われました。この大会は保護者やスタッフ一同の協力があったからこそできる大会でもあります。コロナ以降初めての大きな大会で子どもたちの元気な姿を取材してきました。

ココロつよくなあれ!信じるチカラ!
第16回ジュニアチャレンジカップ

W I T H コロナの生活の中で様々な工夫を凝らしながら練習を積み重ねてきた子どもたち。

その成果を発揮するジュニアチャレンジカップは、「勝ち負け」以上に大切な経験を得ることができる大会でもあります。

今年にはマスク着用での大会開催でしたが、マスク越しでも子どもたちの気合は伝わってきました。

初めに行われたのは型の動作。正確な動きや緩急のつけ方が勝敗を分けます。久しぶりの大会ということもあり、緊張しながらもしっかりとひとつひとつの動作をしっかりと行っていました。低学年の子どもたちはぎこちない動きながらも「やーっ」と大きな声でカパー。高学年、中学生ともなると、あたりが静まり返るほどの緊張感が張りつめます。

続く組手では白熱した試合が繰り広げられました。試合で負け、悔しさを表に出す子どももいました。「次は負けな」という強い意志が表れています。

決勝戦では会場全体が両選手を応援。一打決まるごとに大きな声援(拍手)が沸き上がります。試合を終え、全力を出し尽くした子どもたちは清々しい表情をしていました。「皆様と共に楽しい大会作りが出来たことが何より嬉しく思います。また、僅か2時間の間の中で気づき、学び、成長する子どもたちに驚き感動しました。コロナ禍の中でも大会が無事に開催できた喜びと意義を改めて実感しました。」と浦山館長は話してくれました。

コロナ以降、練習方法や審査会など、試行錯誤を繰り返しながら子どもたちを見守ってきた浦山館長にとり、今回の大会は開館31年目として新たな第一歩となりました。身体を鍛えるだけでなく、困難に負けない「ココロのチカラ」を育む「心身鍛錬場」としてこれからも子どもたちを大きく成長させてくれることでしょう。



正拳突きで板割り!



板割りは保護者の方も参加されました



一進一退の攻防戦



一つ一つの動作をしっかりと判定する「型」

道場生募集! 一般部/少年部/幼児部 ※稽古日、時間割はHPをご覧ください。

「月刊ハロ〜!見た」で入会金無料! マシントレーニング会員募集(応相談) **無料体験受付中!**

空手道拳心館(八柱駅前) 流山わんぱくクラブ(キッコーマンアリーナ)
 松戸市日暮1-16-11シルバークラウド 水 16:00~19:00 三部制 第一武道場 土 9:30~12:30 三部制 第二武道場

☎047-392-5266 <http://www.kenshinkan.jp> 拳心館 🔍検索

